

あすなろの木

光明中「ごさ」
編集者：張上田 薫
No. 4号
平成31年2月4日

「光の春」～2月が スタート～



「1月、往ぬる(いぬる)、2月逃げる、3月去る」
こんな言葉、みんな耳にしたことがあるですか
私が小さい時から、母がよく口にし聞かされてきた
言葉で、時のたつ速さを例えたもので。往ぬる(行く) 逃げる、去る
あつう間に過ぎ去る”時”を大切に、生活することを心がけてほしい。
さて、今日は**立春**。暦(こみ)の上では、春が到来した”というこ
に なります。とは言え、厳しい寒さはまだ続くので、「なぜ春??」と
思っている人が多いと考えます。そこで...

私の家の近所には、奈良公園や佐保川があるのですが、4月頃には、
桜の花が満開の名所でもあります。その桜の木を今、よく見ると、
木の先に、ぽつぽつとふくらんでいる”芽”を見つけることが出来ます。一週間ごと
にその様子を観察していくと、その変化の様子によっても気持ちが変わります。
そうなんです、一見(いっけん)寒さに耐えている冬の樹の姿ですが、その木
も、しっかりと先端には「新しい芽(命のエネルギー)」がやどり、本格的
な春の開花に向けて、準備を始めています。自然の力は、本当にすごい!!

さらに、みんな気づいていたかい、今日の日の出の時刻を、私の住む奈良市は、
午前6:56で、生駒市も同じです。ふたの間では、午前7:00を過ぎないと、朝日
を仰ぐことができません。ちなみに、日の入りは、17:25。2月から最終下交
時刻も30分遅く朝「17:30」になっている。お、お日さの变化は、時間
だけではない、日射の強さも、どんどん増して、日中の明るさ、そして気温も、
少しずつ上がっている。確実に春へと近づいているのだよ!

さて、タイトルの「光の春」ですが、ある本に書かれていたのを目にし、

これはみんなにも紹介したいと思って載せられた。

ロシアでは2月のことを「光の春」と言うそう。先ほど話したように、太陽は、その時間や強さが、丁度だん長く、弱くなっているから。「春は、光からやってくる」と言われ、すなわち「私たちが日本より、さらに冬の寒さが厳しいところで暮らすロシアの人々」春の訪れを心待ちにしている表現であり」と話されていた。

太陽の光は、凍え切った大地を温め、木々に新しい命を与えたり。この自然の営みによって、私たちが人も花、躍動感あふれる春を味わっているのだ。

< 3年生 Fight! >

3年生の入試は、さらに進み、明後日(あす)の3/6から、奈良県内の私立高校入試が始まります。そして、今週末の土曜日からは、県外私立の入試。3/6からは奈良県公立高校の特色選抜入試へと続いている。それぞれ目標としているところに向けて、おしとりに突き進んでいる最中の3年生、くれぐれも体調



面には気を付けて、自分を信じ、頑張ってください。この数日、先週に面接練習をした人の中で、「合格切符」を手にした人たちが、校長室を訪れ、「面接練習、ありがとうございました。練習した

おかげで、面接は緊張せずに、しっかりと力を発揮することが出来ました。」と、満面の笑みを浮かべて報告に来てくれている。本当に嬉しい限りです。とお礼を、「この光明中学校で3年間学べて良かった」というメッセージも聞かせてくれている。合格への喜びとともに、同じクラスでお互いに、今、下を歩いている仲間のために、出来る精一杯のサポートをお願いすると、「ハイ!、もちろんです!」と、本当に優しく、そして力強く、温かい返事とキラキラした目で答えてくれる。これにも、厳しさに耐え、未来に向かって、しっかりとふくらませている「芽」(本校の3年生)がある!!と発見できた喜びをかみ締めながら、この瞬間を大切に書いている。

これは、「光の春、太陽を上げ、大きく背伸びして、春に向かって進んでいる」